

## 07・超あまあま『しつけ』セツクス

トラック06『えっち漫画みたいなおっぱいじめとオナニー告白』からそのまま続き。  
とある年の初夏。六月下旬、二十四時ごろ。

場所は、主人公と唯為理の自宅内寝室。

主人公と唯為理、ベッドの上で、主人公が唯為理を後ろから抱きしめる形で座っている。

主人公、唯為理が必死におねだりしてくるので、たまらない。

先日カーセツクスした時は終始自分が攻められる側だったが、今日は大きく違っている。  
その場その場で優位性が大きく異なるなんて、かえって、とても対等な気がする。  
セツクスを、コミュニケーションとして楽しんでいる感じが、すごくする。

それがとても嬉しくて、だから『攻める側』という、今日のポジションにのつとつて、  
少し意地悪になる。

〈主人公〉

「ふふ。……でも、頼まれてお仕置きしたら、それお仕置きにならなくない？」

唯為理、指摘されて、あからさまに焦る。  
その通りだからだ。

### ● 中央 至近距離

【甘えた声で、でも露骨に焦る】

あつ♥ そんな意地悪、言わないで下さい♥』

〈主人公〉

「意地悪なんて言つてないよ♥

ただ、このままじやお仕置きはできないなつて思つてるだけ』

主人公、唯為理の胸を触っていた手をお腹に回して、抱きしめながら話す。

対する唯為理は、本当にしてもらえないとは思つていなかが……今は焦らされている時間がもどかしい。

少しでも早い続きを懇願してしまう。

### ● 中央 至近距離

「〔甘えた声で、でも露骨に焦る〕

そんな♥ やめちややだ♥ お願い♥ 悪いおまんこ♥ しつけて下さい♥」※

〈主人公〉

「でもなあ……。

パジヤマ汚されたショックで、そんな気分じやなくなつてきちやつたかもなあ……」

それでも主人公は、すぐには応じない。

露骨ににやにやして、くすくす笑いながら、唯為理のお腹を撫で続けている。  
おへそのあたりまでは触つてあげるが、その下へは手をやらない。  
だんだん、この前の仕返しをしている気分になつてくる。

●中央 至近距離

「〔甘えた声で、必死におねだりする〕

お願ひ♥ ちやんと自分で♥ ぱんつ脱ぐからあ♥ ね?」

SE1 唯為理が自分で下着を脱ぐ音  
【最初から最後まで流す】

SE2 唯為理の性器から、愛液が滴る音

【最初から最後まで流す】

【小さめの音量で流す】

唯為理、しひれを切らして、自分から服を脱ぎ始める。

本当に自分は我慢弱い。こらえ性がなさすぎる……。

そう思いながら、まだ何も言われていないのに自分から下着を脱ぎ、性器を空気にさらす。

そこがどうなっているのかは……もはや言うまでもない。

まったく、こんな事、アダルトコミックのヒロインだつてなかなかやらない。

つまり唯為理は、何かに影響されてるのではなくて、『えっち漫画の読みすぎ、描きすぎ』ではなくて。

本来の姿として、こういう人間なのだ。

興奮して、愛液でとろとろに濡れている股間を自分から見せて、いやらしい匂いを漂わせて、恋人を誘惑する。

あるいは、露出行為自体に喜びを感じる。

そういう人間なのだ。

●中央 至近距離

【※マークまで甘えた声で、必死におねだりする】  
ほら♥ ほら見て？ もう無理です。限界です。  
聞きました？

今、すごいぐちゅつて音しましたよね。  
やらしい匂いも、しますよね？

【少し早口で。必死になるあまり、おかしな言葉になる】  
私あなたにしてもらえたかったら無理い♥

お願  
い♥

ちゃんとくぱつとして♥ 指入れやすいようにするから♥ して♥】※

〈主人公〉

「じゃあちゃんとと言おう？ どうしてほしいかわたしに言つて？」

主人公、まだ何も言つていないのに唯為理が下着を脱いだので、驚く。  
身体の作りは同じはずなのに、今濡れている唯為理のそこは、こんなにいやらしい音が

するところだつたか……と、思わず凝視する。

それでもなんとか焦らしながら、この前自分が言われたような事を言つてみる。

それにしても、シチュエーションは違えど、二人で、似た構図のセックスを、立場を変えて繰り返してゐなんて。

なんだか、仲良くロールプレイをしているみたいだ。

つまりそれは、わたしの嗜好を無理やり唯為理ちゃんに押し付けているわけでもなければ。

わたしが、あまり望まない行為を『唯為理ちゃんの頼みだから』と、仕方なく受け入れてゐるわけでもなくて……。

お互い、されて嬉しかった事、忘れられない事を相手にもしてゐるつて事なんだ。

やつぱり、あんまり普通ではないかも知れないと……。

それつて、すごく幸せだ。

### ●中央　至近距離

「少し早口になる。必死で、まったく余裕がない】

うん♥　言うから。ちやんと言ふから♥

【少し間をあけてから】

お願ひ♥ 唯為理のおまんこ。あなたの指でほじほじして下さい♥」

「主人公

「言えたね♥」

主人公、唯為理が想定したのよりも、はるかに過激な事を言うので、ドキドキする。

そういえば先日、自分はこれができなかつた。

指定された言葉とは、だいぶ違う事を言つてしまつた気がする。

つまり、自分はこういう時恥ずかしがつてしまふけれど、唯為理はこの、恥ずかしくなる感じがすごく好きらしい。

そう言つた事がわかるのが嬉しい。

こんなに一緒にいる唯為理にも、まだまだ知らない事があるのだと、わかるのが嬉しい。

●中央 至近距離

「唇に軽く一回だけキスされる

ちゅ♥

【少し間をあけてから。四回キスされる。甘々なゆつくりしたキス】

んぬう♥ ちゅ♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥

〈主人公〉

「……でも、このままじゃどこに入れたらいいのかよく見えないなあ。  
ねえ。もつと、ここ、大きく開ける?」

主人公、唇を離すと、唯為理の右耳に優しくささやく。  
それだけで唯為理はびくつとして、目に涙を浮かべて、でもすぐに大きく頷く。

S E 3 唯為理の性器から、愛液が滴る音

【最初から最後まで流す】

●中央 至近距離

【甘えた声で必死に】

あ♥ うん♥ 開 (ひら) く♥ ちゃんともつと開 (ひら) くから♥

S E 4 唯為理が自分で性器を開く音  
【最初から最後まで流す】

● 中央 至近距離

〔甘えた声で必死に〕

ほら♥ ここ♥ ここです♥ 唯為理の気持ちよくなる穴ここ♥  
ここに挿(い)れて下さい♥

あなたの指を、入れられる一番奥まで入れて♥  
じゅぼじゅぼって出し入れして下さい♥ お願ひ♥

〈主人公〉

「仕方ないなあ♥」

SE5 主人公が唯為理の性器に指を挿入する音

〔最初から最後まで流す〕

● 中央 至近距離

〔嬉しい。入口に指があてられたので〕

あ。

〔少し間をあけてから。喘ぐ。挿入され始めて〕

ああ……♥

【挿入される。圧迫感があり、少し苦しい】  
んつ。

【荒い呼吸を、ゆっくり、三回する。異物感に、少し耐える感じ】  
はー……はー……はー……

【すごく嬉しい。すぐに気持ちよくなる】

ああ……♥ 入ってるう……

【荒い呼吸を、ゆっくり、三回する。今度は、気持ちよくてたまらない感じ】  
はあつ……はあつ……はあ……

【声が低くなる。感嘆符としての『ああ』。あえぎではない】  
ああ。

【すごく気持ちいい】

きたあ……♥ お腹。熱い♥ この押されてる感じ、好き……

【感嘆符としての『ああ』。あえぎではない】

ああ。

【ものすごく嬉しそうに。自分の下腹部をさすって】

ここ♥ ここですよね♥ お腹のこの辺♥ あなたの指♥ 入ってるの、わかる……  
♥

唯為理、主人公の指が挿入されているだろう所をさすって、うつとりする。

主人公のそれは細い女性のものだし、いくら小柄だからと言って、唯為理の身体は成人女性のものだ。

だから、挿入されても見た目には何も変わらないのに、挿れられているだろう場所を見ているだけで、とにかく嬉しい。

よくわからないけれど、お腹の中に主人公の一部がある事で、なんだかとても、自分が完璧なものになれたような気がする。

SE6　主人公が唯為理の性器に指を出し入れする音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【スピードを全部で4段階にして流す】

### ● 中央　至近距離

「気持ちいい。出し入れが始まつて」

あ、あ、あつ。

【声が低くなる。ゆっくりと、すごく気持ちよさそうに】

はあ……つ……♥　いい……つ♥　すつごい。いいです……♥

【うわごとのようになる】

気持ちいい……。気持ちいい♥

【荒い呼吸を、ゆっくり、二回する】

はあつ……はあつ……♥

ああ……♥

【少し間をあけてから少し早口で。我慢できなくなる】

あの。ほんとに私、すけべで、ごめんなさい。えっち大好きでごめんなさい。

ごめんなさい。腰、動いちやう……♥」

唯為理、待ちかねていた快楽をとうとう与えられて、こらえきれずに自分から腰を動かし始める。

シーツに後ろ手に手について、夢中で快感を欲しがる、淫乱で、恥ずかしい自分さえ見てもらう。

それから、少し前のめりになつて、小刻みに腰を動かして、より好きなところに当たるようにはじめる。

●中央　至近距離

【低く、すごくゆっくりと喘ぐ。すごく気持ちいい】

あつ。あつ。……あつ。

【低く、すごくゆっくりと呼吸する。すごく気持ちいい。

腰を動かしながら息を吐いているイメージ】

はーつ♥ はつ。はつ、はつ♥ はつ、はつ♥ はつ、はつ♥

【とろとろになつて喘ぐ】

気持ちいい……♥

☆【※30秒※ 吐息交じりに低めに喘ぐ。

自分の好きなペースで腰を振つて、好きなように感じまくつている】 ☆☆☆☆☆

★ はあ、はあ、はあ。ああつ……あつ。あ♥ あ、うつ。あ……♥ はあ、はあ、はあ  
♥ あああ……あ♥ はつ、はつ、はつ♥ あああ……あ♥ あ♥ あ♥ あ♥ あああ……

【とろとろになりながら、何とか話す】

ああ。えっち気持ちいいです。おまんこ嬉しいです。

私の中♥ あなたが入つてる♥ 幸せです♥

【うつとりと】

気持ちいい……♥

☆【※15秒※ 吐息交じりに低めに喘ぐ。

自分の好きなペースで腰を振つて、好きなように感じまくつている】 ☆☆☆☆☆

★ はあ、はあ、はあ。あ、あ、あ。あ……あ……あ♥ あ♥ あ♥ ああつ……あ♥ あ

〈主人公〉

「…………」

主人公、夢中で感じている唯為理が可愛い。

ただ、このままでは唯為理のペースだ。

それなら、一人でしているのとあまり変わらなくなってしまう。

唯為理は、すっかり自分の気持ちいい所を見つけて落ち着き始めているようだが……。

主人公はそれを崩そうと、手を動かす。

● 中央 至近距離

「高い声で驚く。急に主人公の指が別の場所へ向かつて動いたので】

あつ!?

【声が低くなる】

ああつ……

【ものすごく気持ちいい。今までよりも、少し下品な喘ぎ声が出る】

※以降『お』の喘ぎは、あくまで『可愛く聞こえる範囲』でお願いします※

おつ……お♥ おおつ……おつ♥

【低い声で可愛くあえぐ】

だめ。そこ、だめ。だめ。すごいの。あつ。

【少し間をあけてから】

良すぎい……♥

【低く、小さく喘ぐ】

あつ、あつ、あつ。Gスボ、だめ。

【ものすごく気持ちいい。今までよりも、少し下品な喘ぎ声が出る】

あつ♥ おつ♥ おおつ』

（主人公）

「一週間できなかつたもんね。だから、一週間分、気持ちよくなろうね♥」

●中央 至近距離

【低めにかわいく喘ぐ】

あ♥

一週間分？ 今から一週間分気持ちよくなるの？

【ものすごく気持ちいい。今までよりも、少し下品な喘ぎ声が出る】

ああうつ……♥

【低く、小さく、かわいく言う。すごく嬉しい。少しも嫌がっていない】

それ無理。無理です♥ 無理♥

【低く、すごくゆっくりと呼吸する。すごく気持ちいい】

はーつ♥ はつ♥ はつ、はあつ♥ はあつ♥

【少し早口になる】

そんなのされたらつ♥ おまんこ溶けちゃう♥ 気持ちよくておかしくなるう……

【ものすごく気持ちいい。集中的に弱い所を狙われる】

ああつ♥ あ♥ おつ♥ おおつ♥

【少し早口になる。少しも嫌がっていない】

やだ♥ そこやだ♥ Gスボいじりもうやめて♥ いじめないで♥ 無理♥ ほんとに

無理♥ 変になつちやうからつ♥

【高く可愛く喘ぐ。ものすごく気持ちいい。完全に無視されて攻められ続ける】

ああああ♥ やつ♥ やつ♥ やだあ♥ 許して♥ 許ちて下さい♥

★【※30秒※ 喘ぐ。一方的にがつがつ攻められるが、ものすごく気持ちいい。

主人公に珍しく少し激しくされて、すごく幸せ】★★★★★

★ あーっ ♥ あつ、あつ、あつ。おつ ♥ おつ ♥ おおつ ♥ はーつ、はーつ、はーつ  
♥ あああ ♥ あつ。あつ。あつ。おつ ♥ おおつ …… ♥

〈主人公〉

「しつけてほしいんだよね。お願ひ、全部聞いてあげる。ほら、だから逃げないの」

● 中央 至近距離

「ものすごく気持ちいい。今までよりも、少し下品な喘ぎ声が出る】

おおつ …… !?

【もう音を上げてしまいそう】

やだつ。もう気持ちいいから ♥ しつけやだあ …… ♥ もう気持ちいいのやだ ♥

【完全に無視されて気持ちよくされ続ける】

あつ、あつ、あつ ♥

好きなとこばつかだめえ ♥ すぐイツちゃうからやだあ ♥】

〈主人公〉

「好きなとこいっぱいしないと、お仕置きにならないよ ♥】

● 中央 至近距離

「ものすごく気持ちいい。今までよりも、少し下品な喘ぎ声が出る】

あつ♥ あつ♥ やだ♥ 許ちて♥ やめて♥ あ♥ うつ♥ おおつ……♥

【高く可愛く喘ぐ。イきそくなほど気持ちいい。】

ああーつ……♥

【三回のつくり呼吸して、イきそくなのを耐える】

はーつ、はーつ、はーつ……♥

はあ……もうだめ。こんなの……♥

【※マークまでとろとろになつて、うわごとのように言う】

こんなのされたらわからせられちゃう♥

あなたとしゆるのこんなに気持ちいいって♥ オナニーじやもう無理つて♥  
おまんこねちねちじゆぽじゆぽされて♥ わからせられちゃう♥

★【※15秒※ 喘ぐ。一方的にがつがつ攻められるが、ものすごく気持ちいい。

主人公に珍しく少し激しくされて、すごく幸せ】★☆

★ ああつ♥ あつ、あつ、あ♥ あ、ああ……♥ あ♥ あ♥ あ♥ あつあつあつあ  
♥ あ♥ あつあつ、あ♥ あ♥

★ 【※10秒※ キスする。夢中で、じゆるじゆる音を立ててキスする】☆

★ んつ♥ ん♥ んー♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥

【荒い呼吸を、ゆっくり、三回する。イきそなのをこらえている】

はあつ…………はあつ…………はあ…………♥

【喘ぎすぎて、ほとんど泣きながら言う】

はあ、もうダメです。無理。ずっとしてたかったのにもうイッちゃう♥  
お願ひ♥ もうおまんこ、ちゃんとわかつたから♥ 中イキさせて下さい♥  
ちゃんとほじつてもらつていくから♥

唯為理に中イキさせて下さい♥

★【※10秒※ キスする。唇をふさがれて、でも喘いでいるイメージ】★  
★ ん♥ んんう♥ んー♥ ん♥ ふつ♥ んつ♥』

〈主人公〉

「ちやんとわかつてえらいね♥

そうだよ。

これからは、一人えつちしたいくらいえつちしたくなつた時は、ちゃんとわたしに言う  
の。

もしえつちできない日でも、ちゃんとそばにいてお手伝いするから。ね?』

●中央 至近距離

「高く、甘く喘ぐ」

ああああ……つ  
♥

【甘えた声で。すごく嬉しい】

うん♥

〈主人公〉

「じゃあ、早くするよ?」

●中央 至近距離

「甘えた声で。すごく嬉しい】

はい♥ こうやつて足開いて♥ 腰くいくいして♥

あなたの指気持ちいいとこに必死に当てていくとこ♥ 見て下さい♥

恥ずかしくて淫乱で♥ ダメな子の唯為理♥ 見てて下さい♥】

●中央 至近距離

「☆【※15秒※ 低めに、ものすごく気持ちよさそうにゆっくり喘ぐ。

いく事しか考えてない、夢中の喘ぎ。

主人公にどう見られるかはすっかり忘れて、快感に没頭している】☆☆

★ ああ、あつ。あ♥ あつ……あつ、あ♥ あーつ……♥ はつ、はつ、はつ。おつ♥  
んつ……ううつ♥ うつ♥ おつ♥ おおつ♥

【イきそう。うわごとのようにつぶやく】

ああ♥ おかしくなゆ……♥ おまんこしつけられて♥ 自分でするのよりずつといい  
の覚えさせられちやう♥

★ 【※15秒※】 低めに、ものすごく気持ちよさそうにゅっくり喘ぐ。

いく事しか考えてない、夢中の喘ぎ。

主人公にどう見られるかはすっかり忘れて、快感に没頭している】 ★★

★ はーつ、はーつ、はーつ♥ あ♥ あ♥ ああ♥ あああ……うつ♥ うつ♥ うつ  
♥ あ……おおつ……♥

【イきそう。とろとろになつてつぶやく】

もう無理。

【イ『く』ではなく『ぐ』になる】

イぐ。イきます。

【声が低めから高めになる感じで、『1回・2回・3回』にわけた六回分、

『いく』と、かわいくイきます宣言する】

いく。いくいく。いくいくいく♥

【少し間をあけてから。いく。低めに可愛く、長めに絶頂する】

うあああっ……  
♥』

SE7 唯為理が、どさつと倒れ込む音  
【最初から最後まで流す】

●中央 至近距離

「六回呼吸する。だんだんゆっくりになる。呼吸を整える  
はあ、はあ、はあ。はーつ、はーつ、はーつ……♥

【長めに間をあけてから。独り言のように】

ああ……すつごいよかつたあ。

わからせえっち、めちやめちや気持ちよかつたあ……♥

【唇に軽く一回だけキスされる】

ちゅ  
♥

【そのまま三回、唇をふさがれるようにキスされる】

ん  
♥  
ん  
♥  
ふ  
♥

【うつとりと】

大好き……大好きです。

【唇に軽く一回だけキスする】

ちゅ  
♥  
\_

ここでフェードアウトして終了。